

民生文教委員会 みんなでつくろう健康のわ「元気でまっせ体操」をやりませんか？

出席委員：☑ 岡村千里、☒ 柴山一生、柴田浩行、鈴木伸太郎、三浦知里

◎委員会の行政視察の報告を踏まえ、意見交換をしました。

大阪府大東市では、市の職員が作成した「元気でまっせ体操」をみんなで行い続けることで介護給付費を2億円以上減らすことができたということです。今回の意見交換会では、委員会の行政視察で学んだこの体操を会場の全員でDVDを見ながら楽しく行いました。

犬山市にも「らくらく体操」があり、市民健康館（さら・さくら）で毎月行われていることを紹介しました。

| No | 市民からの意見 | 民生文教委員会の見解 |
|----|---|---|
| 1 | 「らくらく体操」はポスターのみで紙を見ながら行っている。ぜひ、映像化して欲しい。 | 「らくらく体操」をDVDなどにできるように担当課に働きかけをしていきます。また、「らくらく体操」をもっと広めていきたいと考えています。 |
| 2 | さら・さくらまで行くのが大変。もっと近くで活動できる場づくりをして欲しい。 | 各地域で体操など活動できる環境を整えるよう担当課にきっかけづくりを働きかけていきます。 |
| 3 | 1人暮らしの高齢者が増え、認知症の人もある。地域での見守りや相談ができるようにして欲しい。 | 現在、地域包括支援センターが犬山北、犬山南、城東、羽黒・池野、楽田地区の5ヶ所にあり、様々な相談を受けています。お近くの地域包括支援センターにご相談ください。 |

建設経済委員会 道の駅があるのか？

出席委員：☑ 後藤幸夫、大沢秀教、吉田鋭夫、水野正光、稲垣民夫

| No | 市民からの意見 | 建設経済委員会の見解 |
|----|---|---|
| 1 | 市域の中心に商業施設ができるのは歓迎である。道の駅の特徴ある商品に期待したい。 | 道の駅には、運転手の休憩施設と物品販売所の役割があります。10年前に関係機関と調整しましたが、構想が白紙撤回された経緯があります。犬山市で採れた商品だけでは安定した商品提供ができません。運営には、身の丈に合った規模を模索することが不可欠です。 |
| 2 | 市の特産品作りに関わっているが、市内には販売ルートがない。道の駅構想は必要。ただ、切れ目のない商品提供ができるか？生産者との連携等、運営に課題はある。 | |
| 3 | 近隣自治体でも道の駅が検討されていると聞く。競合してまで行う事業なのか。わざわざ市街化調整区域を開発して道の駅を設置するよりも、市街化区域を活性化すべき。 | 地産地消を基本とした地域活性化策の一つです。観光客・通行する近郊の方・市民、誰のためなのか検討する必要があります。 |
| 4 | 行政や第3セクター主導では成功しない。 | 観光を産業として捉え、道の駅が波及効果を呼ぶ起爆剤になり得るか？また、市外のマーケットをどう取り込むか？可能性を排除せず検討すべきです。市が絡まないと土地利用の規制緩和はできません。市民にとって有益か？の判断が必要です。 |
| 5 | 道路幅が広ければ商業に有利かと言えば、決してそうではない。採算がとれるのか疑問。 | |
| 6 | 観光パーク&ライド駐車場の整備で交通の流れを変える政策のほうが有効である。 | |
| 7 | 道の駅が活性化の最善策なのか疑問。商業施設の誘致など、市民のための政策が重要。 | |

平成30年1月20日開催 犬山市議会 市民との意見交換会

「議員と語ろう」

～皆さんのご意見とその回答～

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、「市民との意見交換会」を開催いたしました。

今回は、常任委員会ごとに会場を分け、それぞれで決めたテーマについて、皆さんの声を直接伺う形で行い、78名の方にご参加をいただきました。

各会場でいただきましたご意見の一部を紹介します。



たくさんのご意見ありがとうございました。

総務委員会 安全・安心のまちづくり(防災・減災、救急医療)

出席委員：☑ 上村良一、☒ 山田拓司、久世高裕、矢幡秀則、中村貴文、岡覚

| No | 市民からの意見 | 総務委員会の見解 |
|----|--|---|
| 1 | 上野地区では道路幅が狭く、救急車、消防車が入れないところがある。高齢化対策としても重要だが、どうなっているか。 | 上野地区に限らず、狭い道路は市内に多く存在していますが、消防でシミュレーションはしていますので伝えておきます。町内での訓練も定期的に行うようお勧めします。 |
| 2 | 自主防災組織を充実させないといけないが、事例や知恵があれば勉強させていただきたい。 | まず担当部署の地域安全課にご相談ください。防災・減災に力を入れている町内会や、愛知防災リーダー会との連携もご紹介させていただきます。 |
| 3 | 出張所と第五分団の車庫をふれあいセンターの中に移設するという回覧が回ったが、利用状況等、車庫を移設した場合の導線を検証した上で、慎重に考えて欲しい。 | ふれあいセンターに出張所機能を移設する説明を、根拠を示してしっかりと情報を伝えるように当局に伝えていきます。 |
| 4 | 本年は戌年でもあり、本町通りに元旦から大勢の歩行者が押し寄せたが、歩行者天国になっておらず危ない。いつ歩行者天国を実施しているのか。 | 春と秋のキャンペーン（3～5月、9～12月）の毎週日曜日12時～16時の間で実施しています。居住者にとって不便な面もあるので、話し合いをしながら進めています。 |
| 5 | ゲリラ豪雨対策として、河川のしゅん濇や川幅を広げることが必要ではないか。 | 昨年の豪雨では、薬師川・荒井川が越水しました。定期的しゅん濇の必要性を愛知県に訴えていきます。 |

☑ … 委員長、☒ … 副委員長